

銚子七中  
学校だより

# 坂東太郎

令和2年6月1日  
第25号

## 校長閑話

**COUNT DOWN 閉校まであと 303日**

### 生徒の皆さんへ

今朝の校内放送で生徒の皆さんにお伝えした内容です。

いよいよ春休みを含めた長い長い休校措置が終えました。皆さんはこれまでに経験をしたことのない自宅待機の中、どのような過ごし方をしましたか？自らと向き合う時間、家族と過ごす時間、社会の様子を知る時間、新たなことにチャレンジする時間、そして健康の有難さを実感した時間でもあったのではないのでしょうか？休校中は多くのことを学び得たことと思います。世界がこれまでに経験したことのないウイルスとの戦いは、まだ道半ばですが、しっかりと感染予防に努め、その終息に向けて、皆で One Team として頑張っていきましょう。

そして、いよいよ本日より令和2年度がスタートします。改めて1年生の皆さん、入学おめでとう。そして、2年生、3年生の皆さん、進級おめでとう。今ここに、気持ち新たに登校した皆さんからは大いなるエネルギーを感じます。今の気持ちを大切に、新年度のスタートを切ってほしいと思います。いよいよ本校も、閉校まで残すところ1年を切り、303日となりました。皆さんが今年度迎える学校生活のすべてのことは「七中最後の～」とヘッドフレーズが添えられます。ですから、これまでとは違う中身の濃い内容としていかなければなりません。後世に七中が存在した証、足跡レガシーを残していきましょう。

さて、新しい学年を迎えるにあたって、皆さんには4つの自立を意識して新年度の学校生活を送ってもらえるように、これからお話をしていきます。

皆さんは今、「自分の時間を生きていますか？」「自分の時間を生きる」とは、「毎日の生活を自分の人生を豊かにするために生きていますか？」ということです。今を意識し、日々の瞬間、瞬間を未来のために費やしたり、新しいことにチャレンジしたりすることです。自分の時間を生きるためには、自立的に生きることが必要です。私は、人生には次の4つの自立が必要だと考えています。

まず、1つ目は経済的自立です。生きるためには、生活の糧を自分で生み出さなければなりません。そのために、学校で学び、社会で役立つ知識を習得・活用し、表現できることが求められます。学校の役割は、今、皆さんが学んでいることが、将来「生きて働く力」となれるようにすることだと考えています。

2つ目は精神的自立です。皆さんは今まで、多くの人に依存して生きてきました。自分でできることはなるべく自分でするようにし、自分で気づき、考え、行動できる人になれるように努めてください。

3つ目は生活面の自立です。感染症の予防をすることや家での家事やその手伝いなど、家族の一員として基本的なことを身につけなければなりません。そのために、現在男女ともに学ぶ技術・家庭科のような教科もあるわけです。

4つ目は性的自立です。これは新しい考え方ですが、今後大切になってきます。今年度から本校では男女混合名簿を活用していきます。「男子だから」「女子だから」ではなく、それぞれの個性を認め合い、できることを考え、男女が協働してよりよい学校や社会にしていくことが求められます。

学校生活を、経済的自立、精神的自立、生活面の自立、性的自立の4つの自立を図る場として考え、その中で自分の個性と向き合いながら、未来のために何ができるか、人のために何ができるかを考えてもらいたいと思います。そして自分の時間を豊かに生きてほしいと思います。自分を高め、自分の人生をより良いものとして、皆さん一人一人が幸せになることを望みます。

